

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

(3) 言葉が持つ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標

	第1学年及・第2学年	第3学年・第4学年	第5学年・第6学年
知識及び技能	(1)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		
	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・文や文章 ・言葉遣い ・表現の技法 ・音読、朗読		
	(2)情報の扱い方に関する事項		
	(3)我が国の言葉の文化に関する事項		
思考力、判断力、表現力等	(2)順序だてて考える力や感じたり創造したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを持つことができるようにする。	(2)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	(2)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
	A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと		
学びに向かう力、人間性等	(3)言葉が持つ良さを <u>感じる</u> とともに、 <u>楽しんで読書</u> をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3)言葉が持つ良さに <u>気付く</u> とともに、 <u>幅広く読書</u> をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3)言葉が持つ良さを <u>認識する</u> とともに、 <u>進んで読書</u> をし、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
	資質・能力の三つの柱は相互に関連しあい、一体となって働くことが重要である。このため、この内容の構成が「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力」を別々に分けて育成したり、「知識及び技能」を習得してから「思考力、判断力、票権力等」を身に着けるといった順序性をもって育成したりすることを示すものではない。		

第1学年及び第2学年 内容のまとまりごとの評価規準例

※ 主体的に学習に取り組む態度（ ）内の数字

- ①粘り強さ（積極的に、進んで、粘り強く等）
- ②自らの学習の調整（学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等）
- ③他の観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

A 話すこと・聞くこと

ア 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 ((1)オ)	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 (A(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 (A(1)エ)	進んで①、相手に伝わるように話す事柄の順序を考え ③ 学習の見通しをもって ② 紹介しようとしている ④。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ((1)ア) - 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いているとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ((1)イ) - 主語と述語との関係に気付いている。 ((1)カ) - 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。 ((1)キ) - 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (A(1)ア) 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 (A(1)ウ)	積極的に①、姿勢や口形、発声や発音に注意して話し ③、今までの学習を生かして②説明しようとしている ④。
イ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (A(1)ア)	進んで①、話題を決め ③、学習の見通しをもって ②少人数で話し合おうとしている ④。

・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 (A(1)オ)	
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いているとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 (A(1)オ) ・主語と述語との関係に気付いている。 (A(1)カ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。((1)キ)	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 (A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	・積極的に(①)、身近なことを表す語句の量を増し(③)、学習課題に沿って(②)尋ねたり応答したりしようとしている(④)。

B 書くこと

ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	・進んで(①)、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し(③)、学習の見通しをもって(②)報告する文章を書こうとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 (B(1)エ)	・積極的に(①)、長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)記録する文章を書こうとしている(④)。

・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っているとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。((3)ウ(ア)) ・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 (3)ウ(イ)) ・点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書いている。((3)ウ(ウ))	・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B(1)オ)	
イ 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。 (1)キ)	・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ) ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 (B(1)エ)	・粘り強く(①)、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え(③)、学習課題に沿って(②)手紙を書こうとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア) ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、第2学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B(1)オ)	・積極的に(①)、当該学年の前の学年や当該学年で担当されている漢字を文や文章の中で使い(③)、今までの学習を生かして(②)日記を書こうとしている(④)。

・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。((3)ウ(ア)) ・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 (3)ウ(イ)) ・点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書いている。((3)ウ(ウ))		
ウ 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B(1)オ)	・粘り強く(①)、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え(③)、学習の見通しをもって(②)簡単な物語を書こうとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っていると同時に、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 (B(1)ウ)	・積極的に(①)、文の中における主語と述語の関係に気付き(③)、学習課題に沿って(②)見たり経験したりして感じたことを書こうとしている(④)。

・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。((1)キ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。((3)ウ(ア)) ・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。((3)ウ(イ)) ・点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書いている。((3)ウ(ウ))	・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)	
---	---	--

C 読むこと

ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	・進んで(①)、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え(③)、学習の見通しをもって(②)分かったことを話そうとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	・積極的に(①)、言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気づき(③)、学習課題に沿って(②)考えたことを文章にまとめようとしている(④)。

・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。((1)ク) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)		
イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	・進んで(①)、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え(③)、学習の見通しをもって(②)内容や感想を文章にまとめようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ) ・敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。((1)ク) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。((3)イ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	・積極的に(①)、読書に親しみ(③)、今までの学習を生かして(②)役割を決めて音読したり、演じたりしようとしている(④)。

ウ 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)	・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	・進んで(①)、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し(③)、学習の見通しをもって(②)分かったことを説明しようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。((1)ア) ・第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っていると同時に、第2学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。((1)カ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っていると同時に、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	・積極的に(①)、共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し(③)、学習課題に沿って(②)分かったことや思ったことを説明しようとしている(④)。

第3学年及び4学年 内容のまとめり事の評価規準例

※ 主体的に学習に取り組む態度（ ）内の数字

- ①粘り強さ（積極的に、進んで、粘り強く等）
- ②自らの学習の調整（学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等）
- ③他の観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

A 話すこと・聞くこと

ア 説明や報告など調べたことを話したり，それらを聞いたりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・相手を見て話したり聞いたりしているとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話している。 ((1)イ)	・「話すこと・聞くこと」において，相手に伝わるように，理由や事例などを挙げながら，話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において，話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)	・粘り強く(①)，話の構成を考え(③)，今までの学習を生かして(②)調べたことを説明しようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には性質や役割による語句のまとめりがあることを理解し，語彙を豊かにしている。((1)オ) ・主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割について理解している。 ((1)カ) ・丁寧な言葉を使っている。((1)キ) ・考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ)	・「話すこと・聞くこと」において，目的を意識して，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を比較したり分類したりして，伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えをもっている。 (A(1)エ)	・積極的に(①)，丁寧な言葉を使い(③)，学習の見通しをもって(②)報告しようとしている(④)。

イ 質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において，目的を意識して，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を比較したり分類したりして，伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えをもっている。 (A(1)エ)	・進んで(①)，日常生活の中から話題を決め(③)，学習の見通しをもって(②)情報を集めようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 (1)ア) ・相手を見て話したり聞いたりしているとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話している。 (1)イ) ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにしている。(1)オ) ・主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割について理解している。 (1)カ) ・丁寧な言葉を使っている。(1)キ) ・比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ)	・「話すこと・聞くこと」において，相手に伝わるように，理由や事例などを挙げながら，話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において，話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)	・積極的に(①)，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫し(③)，今までの学習を生かして(②)質問しようとしている(④)。

ウ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア) - 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	進んで(1)、目的を意識して、話題を決め(3)、学習の見通しをもって(2)グループや学級全体で話し合おうとしている(4)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
- 相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) - 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ) - 指示する語句と接続する語句の役割について理解している。(1)カ) - 丁寧な言葉を使っている。(1)キ) - 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	積極的に(1)、相手を見て話したり聞いたりし(3)、学習課題に沿って(2)互いの考えを伝えようとしている(4)。

B 書くこと

ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ) - 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	粘り強く(1)、書き表し方を工し(3)、学習の見通しをもって(2)報告する文章を書こうとしている(4)。

上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ((1)ウ) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・文字の組立て方を理解し、形を整えて書いている。((3)エ(ア)) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書いている。((3)エ(イ)) ・毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。((3)エ(ウ))	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)オ)	・積極的に(①)、考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解し(③)、学習課題に沿って(②)学級新聞にまとめようとしている(④)。
イ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ)	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	・粘り強く(①)、段落相互の関係に注意して文章の構成を考え(③)、学習の見通しをもって(②)案内の文章を書こうとしている(④)。

・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書いている。((3)エ(イ))	・まとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (B(1)イ) ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (B(1)エ)	
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていると同時に、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 (1)ウ) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っていると同時に、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・文字の組立て方を理解し、形を整えて書いている。((3)エ(ア)) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書いている。((3)エ(イ)) ・毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。((3)エ(ウ))	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	・積極的に(①)、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し(③)、今までの学習を生かして(②)お礼の文章を書こうとしている(④)。

ウ 詩や物語をつくるなど、 感じたことや想像したことを書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)オ)	・進んで(①)、伝えたいことを明確にしようとし(③)、学習の見通しをもって(②)詩をつくろうとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていると同時に、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ((1)ウ) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っていると同時に、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ・丁寧な言葉を使っていると同時に、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・文字の組立て方を理解し、形を整えて書いている。((3)エ(ア)) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書いている。((3)エ(イ)) ・毛筆を使用して点画の書き方へ理解を深め、筆圧などに注意して書いている。((3)エ(ウ))	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (B(1)エ)	・積極的に(①)、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解し(③)、学習課題に沿って(②)、物語をつくろうとしている(④)。

C 読むこと

ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ)	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。C(1)オ)	・粘り強く(①)、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し(③)、学習課題に沿って(②)分かったことや考えたことを説明しようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。((1)ア) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。((3)オ)	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ)	・積極的に(①)、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く(③)、学習の見通しをもって(②)文章の一部を引用して意見を述べようとしている(④)。
イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。C(1)オ)	・進んで(①)、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し(③)、学習の見通しをもって(②)考えたことを文章にまとめようとしている(④)。

上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 ((1)エ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ((1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア) ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ((2)イ) ・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ((3)ア) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ((3)オ)	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 (C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 (C(1)カ)	・積極的に(①)、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解し(③)、学習課題に沿って(②)内容を説明しようとしている(④)。
ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ((3)オ)	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 (C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (C(1)オ)	・粘り強く(①)、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち(③)、学習の見通しをもって(②)分かったことをまとめようとしている、(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 ((1)エ)	・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 (C(1)カ)	・積極的に(①)、全体と中心など情報と情報との関係について理解し(③)、学習課題に沿って(②)分かったことを説明しようとしている(④)。

・様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使っていると同時に，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにしている。 ((1)オ) ・主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。((1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使っている。((3)イ) ・漢字が，へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。 ((3)ウ)		
--	--	--

第5学年及び第6学年 内容のまとめり事の評価規準例

※ 主体的に学習に取り組む態度（ ）内の数字

- ①粘り強さ（積極的に、進んで、粘り強く等）
- ②自らの学習の調整（学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等）
- ③他の観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

A 話すこと・聞くこと

ア 意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるよに、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 (A(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	粘り強く(①)、話の構成を考え(③)、学習の見通しをもって(②)、意見しようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア) - 思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (1)オ) - 話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。((1)カ) - 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) - 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((1)ク) - 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) - 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。((3)オ)	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	積極的に(①)、日常よく使われる敬語を理解し(③)、今までの学習を生かして(②)提案しようとしている(④)。

イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	・進んで(①)、目的や意図に応じて、話題を決め(③)、学習の見通しをもって(②)必要な情報を集めようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア) ・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((1)イ) ・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (1)オ) ・話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((1)ク) ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・書く速さを意識して書いている。 (3)エ(ア))	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	・粘り強く(①)、思考に関わる語句の量を増し(③)、学習課題に沿って(②)インタビューをしようとしている(④)。
ウ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 (A(1)ア)	・粘り強く(①)、伝え合う内容を検討し(③)、学習の見通しをもって(②)考えを伝えようとしている(④)。

	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが ら計画的に話し合い、考えを広げたり まとめたりしている。(A(1)オ)	
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((1)イ) ・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。((3)オ)	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	・積極的に(①)、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し(③)、学習課題に沿って(②)話し合おうとしている(④)。

B 書くこと

ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	・粘り強く(①)、文章全体の構成や展開を考え(③)、学習の見通しをもって(②)事象を説明する文章を書こうとしている(④)。

上記以外に設定することが考えられる評価規準の例

・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア) ・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。(1)イ) ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けているとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。 (1)ウ) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (1)オ) ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) ・目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。 (3)エ(ウ))	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) ・「書くこと」において、引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ)	・積極的に(1)、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し(3)、学習課題に沿って(2)意見を述べる文章を書こうとしている(4)。
---	--	---

イ 短歌や俳句をつくるなど、 感じたことや想像したことを書く活動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・親しみやすい古文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)	・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文を整えている。 (B(1)オ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ)	・粘り強く(1)、書き表し方に着目して文を整え(3)、今までの学習を生かして(2)短歌をつくらうとしている(4)。

上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っているとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喩などの表現の工夫に気付いている。((1)ク) ・情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めているとともに、書く速さを意識して書いている。((3)エ(ア)) ・毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。((3)エ(イ)) ・目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。((3)エ(ウ))	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	・進んで(①)、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し(③)、学習の見通しをもって(②)俳句をつくろうとしている(④)。
ウ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感	・粘り強く(①)、伝えたいことを明確にし(③)、学習の見通しをもって(②)感じたり考えたりしたことについて文章に書こうとしている(④)。

	想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (B(1)ウ)	
上記以外に設定することが考えられる評価基準の例		
・言葉には, 相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き, 文や文章の中で使っているとともに, 当該学年に配当されている漢字を漸次書き, 文や文章の中で使っている。(1)エ) ・文の中での語句の係り方や語順文と文との接続の関係, 文章の構成や展開, 文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・情報と情報との関係付けの仕方, 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) ・書く速さを意識して書いている。 (3)エ(ア))	・「書くこと」において, 筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えている。 (B(1)イ) ・「書くこと」において, 文章全体の構成や書き表し方などに着目して, 文や文章を整えている。 (B(1)オ) ・「書くこと」において, 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ)	・積極的に(1), 文章の種類とその特徴について理解し(3), 学習課題に沿って(2)感じたり考えたりしたことについて文章に書こうとしている(4)。

C 読むこと (小)

ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み, 分かったことや考えたことを, 話し合ったり文章にまとめた りする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・思考に関わる語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。(1)オ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	・「読むこと」において, 目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり, 論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において, 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 自分の考えを広げている。 (C(1)カ)	・粘り強く(1), 論の進め方について考え(3), 学習の見通しをもって(2)分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている(4)。

上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・文章を音読したり朗読したりしている。 ((1)ケ) ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。((3)オ)	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	・進んで(①)、日常的に読書に親しみ(③)、今までの学習を生かして(②)分かったことや考えたことを話し合おうとしている(④)。
イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。〔知識及び技能〕(1)ク) ・文章を音読したり朗読したりしている。((1)ケ)	・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (C(1)オ)	・進んで(①)、物語の全体像を具体的に想像し(③)、学習の見通しをもって(②)考えたことを文章にまとめようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ((1)ア) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ) ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ((1)オ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 (C(1)カ)	・積極的に(①)、原因と結果など情報と情報との関係について理解し(③)、学習課題に沿って(②)内容を説明しようとしている(④)。

・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章を音読するなどして，言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して，昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ・語句の由来などに関心をもっているとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き，共通語と方言との違いを理解している。また，仮名及び漢字の由来，特質などについて理解している。((3)ウ) ・日常的に読書に親しみ，読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。((3)オ)		
ウ 学校図書館などを利用し，複数の本や新聞などを活用して，調べたり考えたりしたことを報告する活動		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) ・日常的に読書に親しみ，読書が，自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。((3)オ)	・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において，文章を読んでまとめた意見や感想を共有し，自分の考えを広げている。 (C(1)カ)	・進んで(①)，文章を読んでまとめた意見や感想を共有し(③)，学習課題に沿って(②)考えたことを報告しようとしている(④)。
上記以外に設定することが考えられる評価規準の例		
・言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (①)ア) ・第5学年及び第6学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(①)エ) ・思考に関わる語句の量を増し，話や文章の中で使っているとともに，語句と語句との関係，語句の構成や変化について理解し，語彙を豊かにしている。 (①)オ)	・「読むこと」において，事実と感想，意見などとの関係を叙述を基に押さえ，文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において，登場人物の相互関係や心情などについて，描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において，目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)	・積極的に(①)，文章の種類とその特徴について理解し(③)，今までの学習を生かして(②)，調べたことを報告しようとしている(④)。

・文の中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。((1)ク) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・語句の由来などに関心をもっているとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き，共通語と方言との違いを理解している。また，仮名及び漢字の由来，特質などについて理解している。((3)ウ)	・「読むこと」において，人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)	
--	---	--